梅だより

①

2024年1月1日発行

発行・有限会社エイチエヌ・プラナ企画
〒166-0002 東京都杉並区高円寺北3-41-17
ファミーユ太田103
TEL. 03（6265）5775／FAX. 03（6265）5776
WEBアドレス　http://www.pulana.net/
Eメールアドレス　fan@pulana.net

昨年は長いながい暑い夏の後に、秋と夏の戻りと冬が一緒くたにジグザクと季節が行きつ戻りつしているうちに、あっという間に一年が終わってしまいました。皆さん、いかがお過ごしですか？

忘れた頃に届く「梅だより2号」をお届けします。

2023年の司平さんのコンサートの旅は、少なめとはいえ、山形に京都や広島、福島に福井と久々に梅原司平の諸国漫遊歌の旅となりました。

9月9日京都では久しぶりにピアノとパーカッションの入った、大きなホールでのコンサートが大成功で行われ、多くの皆さんに聴いていただきました。呼んでくださった皆さん、聴いてくださった皆さん、本当にありがとうございました。

そしてようやく福島県いわき市での水害援助のコンサートを行うことができました。いわき市内他の皆さまにも多くのご協力・ご援助をいただき、とても喜んでいただくことができました。

コロナ前にプラナ会員さんやファンの皆さんからいただいたご援助金を使わせていただきました。皆様のご協力に感謝いたします。本当にありがとうございました。

昨秋はコンサートがほぼ毎週あったので、今週感染したら来週のコンサートはできなくなりますと言って、司平さんはじめミュージシャン、スタッフの皆さんにとにかく感染しないようにと厳しい注意をしながら日々過ごしていました。

司平さんは歳を重ねながらも、ありがたいことに今も声は良く出ていて歌を届けることが出来ています。でももし感染したらこれまでのような司平さんの声が出るかどうか、コンサートをする体力が戻るかどうかとても不安です。感染対策の手を抜くことは出来ません。司平さんの歌をまだまだ皆さんに聴いていただけるようにと司平さんも頑張っています。皆さまにもご協力をお願いいたします。

司平さんのコンサートはありませんか？と、時々お問い合わせがあります。数はやはり少ないのでなかなかその方の行きやすいところにコンサートがない、というのが実状です。そこで、ご自分でやってはいかがですか？とお答えしています。

83歳のお母様の誕生日に、感謝を込めて近しい親族で司平さんの歌を聴きたいと言われる、おうちコンサート。亡くなられたご家族を偲んで、ファミリーで大ファンだったので、司平さんの歌を聴きながら愛する故人を偲びたいと、一周忌のお経の代わりに司平さんの歌を聴きたいと言われました。

また司平さんの同級生のTくんから、司平くんの歌をどこかで聴けないかなぁとお電話がありました。なかなかないので少人数でも行きますから同級生ライブしましょうとお答えしています。そういうとても小さなコンサートから、労音や合唱団など、大きいホールで取り組まれるコンサートもあり、司平さんに来て欲しいというオファーに、一つひとつお応えしています。

今年はまだ日程的には決まっていませんが、鹿児島のファンの皆さんや、福井や群馬からも、来てもらえませんかとのお話もあります。

あなたの心の中にまだ、司平さん呼びたいなというお気持ちが少しでもあるのでしたら、それは今ですよ。どのような形でのコンサートが出来るか、できる限りの感染対策をして、歌える方法を考えたいと思います。ご相談下さい。

昨年末にはプラナがどのようになっていくかお伝えしたいと思っていましたが、なかなか準備が進んでいなくて少し遅れています。今年の半ばまでにはお伝えしたいと思いますので、もう少しお待ち下さい。それまでは、これまでと同じ連絡先でプラナはやっていますのでご連絡いただいても大丈夫です。

2024年も、どうぞ梅原司平をよろしくお願いします。今年こそ良い年になりますように。

★このようにお知らせしたいことが出来た時に、時々ゆる～く発行していきます。基本は公式サイトでの掲載となりますが、郵送ご希望の方は切手をお送りいただければプリントをお送りします。（モノクロプリント）

梅原司平スケジュール 2024年

正式に決定された企画のみ掲載しています。詳細はプラナまでお問い合わせ下さい。

1月11日（木）大阪府大阪市　クレオ大阪中央大ホール　青い空は青いままで「平和音楽祭」
開場18：00　開演18：30　■第2部　梅原司平コンサート　参加費：3000円
お問合せ：うたごえ喫茶「ほっとすてんしょん」06-6767-6762／e-mail:hot_tani6@yahoo.co.jp

3月30日（土）富山県（一般参加はできません）／8月18日（日）広島県（一般参加はできません）

10月27日（日）埼玉県川越市やまぶき会館　お問合せ：労音やまぶきの会（所沢労音）04-2968-5239

12月7日（土）埼玉県所沢市民文化センターミューズ小ホール　お問合せ：所沢労音 04-2968-5239

★コンサートをやってみたい方は是非プラナまでご相談ください。TEL 03（6265）5775

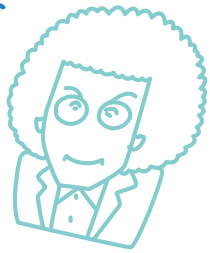
梅だより

②

2024年1月1日発行

発行・有限会社エイチエヌ・プラナ企画
〒166-0002 東京都杉並区高円寺北3-41-17
ファミーユ太田103
TEL. 03（6265）5775／FAX. 03（6265）5776
WEBアドレス　http://www.pulana.net/
Eメールアドレス　fan@pulana.net

平司だより



大変ご無沙汰しています。梅原司平です。

時々「司平さんお元気ですか？今も歌っていますか？」とお手紙をいただきます。おかげさまで元気でやっています。心配してくださってありがとう。あなたは元気でお過ごしでしたか？あなたにとって今年が素敵な日々になりますよう、心から願っています。

さて昨年の私は、ただただステージに立てるというだけで、それが本当に嬉しくて楽しくて仕方がありませんでした。今年も一つひとつ心を込めてステージに立ち歌っていきたいと思っています。「やっぱり歌は私の生命です！」。

アレッ？この言葉、誰かも言ってなかった？　と思ったらNHK朝のドラマ「ブギウギ」の中の一節でした。実在の人物、笠置シズ子さんの物語を趣里さんが演じています。

物語は戦前から戦中へと進み、敵国のジャズもブルースも歌えない、華美な服装もダメ、口紅もつけちゃダメ、踊っちゃダメ…。そんな戦争の時代に突入しています。

いま映画「窓ぎわのトットちゃん」が上映されていますね。この映画を見ながら、ズ～ッと私泣いていました。アニメーションでこんなに泣いたの初めて。もちろん悲しいだけじゃありません、感情が爆発しすぎて普通の学校に通えなくなって、仕方なく転校した先が「トモエ学園」。そこの校長先生がまた素晴らしい。トットちゃんの長い長いお話をニコニコ笑顔で全部聞いてくれます。そして「君は、ほんとうはいい子なんだよ」と優しくいってくれます。

つくづく日本中の学校がこんな風になったら良いのにと心から思いました。私は戦前戦中のことは経験していませんが、まだその名残りが感じられる戦争直後の生まれです。小学校の頃には戦争でお父さんを亡くした子もいたし、みんな貧しかったし、決して美味しいとは言えないけど給食はガツガツ食べたし…。

ア～ッ、戦争は嫌だ！自由に歌うこともできなければ演奏もできないなんて。黒柳徹子さんもこんな小学生時代を生きてこられたのですね。

そうそう、2022年の12月。「徹子の部屋」の最終ゲストがタモリさんでした。そのタモリさんに徹子さんが「来年はどんな年になるでしょうね？」と問いかけたらタモリさんが「新しい戦前になるんじゃないですか」と答えました。普段あの軽いタッチのお笑い芸人的なタモリさんの口から「新しい戦前」という言葉が飛び出したのです。

それが、その後随分話題になりました。黒柳さんも、タモリさんのその一言が心に深く残ったに違いありません。そして丸1年過ぎたこの12月に映画「窓ぎわのトットちゃん」の上映です。素晴らしい映画ですよ。ぜひあなたも観てくださいね。何だか、これまでプラナプレスに書いてきた「アイラブ・シネマ」になったみたい。

スタッフだより

映画「窓ぎわのトットちゃん」。プラナスタッフの私も、これは見ておかなくてはと急いで見に行きました。綺麗で可愛くて、思わず顔がほころんで笑えてきて、また何度も目の縁を涙が決壊して、温かいものがあふれながらの鑑賞になりました。

私も子供の頃、とても古い木造校舎の小学校に通っていました。つっかい棒だらけでやっと立っていた校舎でしたので「清水野学校いい学校　裏から見たらつっかい棒！」と隣の小学校の悪戯坊主からよくからかわれたものです。映画の中でトットちゃんたちがいじめっ子たちにに囃し立てられているのと音の調子がまるで同じで、「おんなじ～」と泣き笑いしていました。

徹子さんの「トットちゃん」の世界と司平さんの歌の世界とがどこか近いものを感じます。徹子さんは戦時中に幼い時代を過ごしたということ、司平さんは終戦直後に生まれて時代が近いことがあります。また、トットちゃんほどでないにしても司平さんも落ち着きのない子どもだったと、司平さん自身が言っていることからも、司平さんの恩師・佐々木先生のことを歌った歌「僕の先生」の歌をつい思い出してしまいます。徹子さんの生きてきた世界と司平さんのそれとが、とても近いことを今回特に感じることとなりました。

そして最後のエンドロールに、司平さんのキングレコード制作の音作りでお世話になった野見祐二さん、西澤雅巳さんのお名前を見つけてうれしかったです。黒柳徹子さんの映画と司平さんのCDの音楽を同じ人が作っているなんてすごいです！同じ思いを持って音作りをして下さっていることを知ることができた映画でした。

司平さんの歌が好きな皆さまも是非劇場で上映しているうちに観てみてくださいね。

＊野見祐二さん、西澤雅巳さんにお世話になったキングレコード発売の「愛あればこそ」「うたのちから」CDは完売となりました。